



研究主題

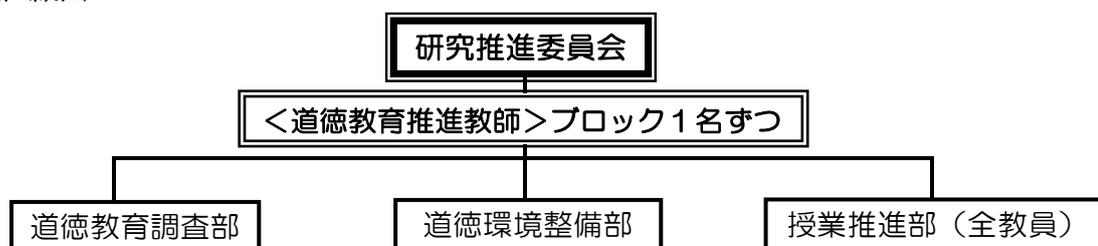
「特別の教科 道徳」における自己マスタリーの育成
～自分自身の生き方を究める～

1 主題設定の理由

本校では、平成 29・30 年と「算数科における主体的に学ぶ児童の育成～主体的な学習を実現する授業を目指して～」と設定し、算数科の研究と実践に取り組んできた。成果として、入間地区学力調査・県学力調査・全国学力調査において平均正答率が上がったこと、「友達と意見を伝え合う良さを実感している」と答える児童の割合が増えたことなどがある。課題としては、児童同士の話し合い活動がまだ限定的であること、自分の考えを説明したり、みんなに発表したりすることに、苦手意識をもつ児童が多いことが挙げられる。

このことから、道徳の授業の特質を生かし、自分の考えに自信をもち、のびのびと考えを伝え合える児童の育成を目指し、この研究主題を設定した。

2 研究組織図



3 研究仮説と手だて

(1) 研究仮説

- ①教材との出会い方を工夫することで、主体的に考えることができるであろう。
- ②ねらいを明確にし、多様な考え方や感じ方に接することができる発問を工夫すれば、自己の考えを深め広げていくことができるであろう。

(2) 研究仮説に迫る手だて

- ①内容項目や、前時のつながりを意識した授業の工夫



- ②考えを深めるための工夫 (道徳ノート・伝え歩き・グループ学習)





Message

キーワードがまとめてあり、道徳の授業を考える上で常に意識している。

- ① ゴールをもって授業に臨むことで方向を見失うことはない。
- ② 説話では、教師の道徳的価値を語る。授業者も考える一人の仲間。
- ③ 「手を挙げない人もさすよ」発言しないと議論にならない。
- ④ 道徳の授業にまちがいはない。だってあなたの人生が答えだから。
- ⑤ 授業は、子どもたちの実態あってこそ。教材は、活用するもの。
- ⑥ 「〇〇になって」と問うことで自己の生き方について深く考えることができる。
- ⑦ 発問の軸をずらして授業を深める。ただし、ねらいの軸は外さない。
- ⑧ 「疑問やこれってどういうこと？」沈黙の時間が生まれる授業をめざす。
- ⑨ 30人いたら30の答えがある。だから、友達の意見を真剣に聞く。
- ⑩ 一番いい意見を出すことが目的ではない。子どもたちに「何を気づかせたいか」が大切。
- ⑪ 「主題」からずれないようにするには、明確な指導観・児童の把握・児童の反応のイメージが大切。
- ⑫ 「本音を引き出す」ために、教師も腹の底から本音を語る。本音で語る教師になる。

令和2年度 主な校内研修

期 日・研 修 等	内 容
<p>7月3日（金） 授業研究会</p> 	<p>提案授業（6年） 研究主任 大森 理史 教諭 指導者 入間市教育センター 指導主事 村野 由佳 先生 教材名 心を形に 内容項目 あいさつ、礼儀 【指導者からの愛メッセージ】 ・範読では、読む前に全体を気につけ、読んだ後の間（子供がどう感じているかを見取る）が重要である。 ・道徳は、生き方を語り合い、明日も頑張ろうと思える時間である。</p>
<p>9月28日（月） 授業研究会</p> 	<p>研究授業（4年）秋山 真理子 教諭 指導者 入間市教育センター 指導主事 村野 由佳 先生 教材名 ひびが入った水そう 内容項目 A 正直・誠実 【指導者からの愛メッセージ】 ・深い学びのキーワード「意図的」「切り返し」「賞賛」が揃っている。 ・賞賛とライブ感を大切に、授業を楽しんでもらいたい。</p>
<p>10月5日（木） 授業研究会</p> 	<p>研究授業（2年）古澤 実咲子 教諭 指導者 西部教育事務所 指導主事 後藤 輝明 先生 教材名 およげないりすさん 内容項目 A 友情・信頼 【指導者からの愛メッセージ】 ・子供の発言の受容は大切。受容の強弱をつけていきたい。 ・説話のキーワードは「長さ」と「振る舞い」。道徳的価値を教師が語ることが大切。</p>
<p>10月19日（月） 授業研究会</p> 	<p>研究授業（3年）住田 彩香 教諭 指導者 入間市教育センター 所長 吉野 正美 先生 教材名 目標に向かって 内容項目 A 希望と勇気 努力と強い意志 【指導者からの愛メッセージ】 ・中心発問で深められるかどうかは、その前の発問で決まる。 ・間合いが大事。間合いは心を動かす時間である。</p>

11月16日(月) 授業研究会



研究授業(5年) 高岡 啓太 教諭
教材名 くずれ落ちたダンボール箱
内容項目 B 親切・思いやり

【子供からの愛メッセージ】

○改めて「親切」とは？

- ・困っている人がいたら助けてあげる。困っている人の心のモヤモヤを吹き飛ばしてあげる。
- ・相手が困っていたら自然と助けに行けること。正しいことは正しいと思い率先して助けること。

11月18日(水) 授業研究会



研究授業(1年) 岩原 綾香 教諭
教材名 二わのことり

内容項目 B 友情・信頼

【子供からの愛メッセージ】

○友達を大切にすることってどういうことですか？

- ・みんなで仲良く、一人もさびしくない。
- ・人のことを思ってくれる。友達が嫌なことをされたら助けてあげる。気持ちを考えて言葉を使う。

11月20日(金) 授業研究会



研究授業(6年) 大森 理史 教諭

指導者 県立総合教育センター
指導主事 原 卓範 先生

教材名 手品師

内容項目 A 正直・誠実

【指導者からの愛メッセージ】

- ・考え続ける姿勢こそが大切であり、授業が終わった後がスタートである。
- ・考えさせたいこと・伝えたいことが発言として出てからが本当の話合いのスタートである。借り物の意見から本物の意見にしていく。

道徳教育のイメージ図

社会・未来へ かけがえのない個々がどう生きるか

家庭・地域

価値観の共有化

学校教育全体 (3つの本)

本当 (児童の実態)

本来 (めざす姿)

本質 (考え方・行動)

道徳の授業 (3つの本)

○本理解 教材と向き合う

○本気 友達と向き合う

○本音 自分と向き合う

* 質の高い中心発問(20分)

